

## ◆ ブラジルで新年を迎えました。

富山のみなさんこんにちは。第3アリアンサでの生活も残すところあと1ヶ月となりました。今月はブラジルの学校の休みに合わせて、日本語学校も12月中旬から今月末まで休みであったため、いつも以上に様々なことにチャレンジできる月となりました。まず、前回の通信には書きませんでしたでしたが、年末にサンパウロマラソンに参加しました。サンパウロ市内の大通りやその周辺の約16kmのコースを友人と共に走りました。普段からランニングはするように心がけて生活を続けて来たのですが、それでも16kmを走り切るのは相当過酷でした。また1月の中旬にはブラジルで有名な観光スポットの1つであるイグアスの滝へ行きました。世界三大瀑布の1つでもあるのですが、以前に訪れたことがあるナイアガラの滝と比べて、それ以上の迫力を感じました。ぜひブラジルにお越しの際は訪れてみてください。

それでは、今月の出来事を写真と共に紹介していきます。

## ◆ 日本語学校が再開しました 1月29日（月）

ブラジルの学校では夏休みが1ヶ月半ほどあります。その休みに合わせて日本語学校も夏休みにしていました。長い休みを経て、29日から授業を再開しました。久しぶりの日本語の勉強で、子どもたちの記憶の中に昨年学んだことが残っているか不安でしたが、しっかりと覚えていてくれました。また、昨年はほとんど見ることはできなかったのですが、授業中にお互いが助け合って学習しようとしている姿を見ることもできました。日本で授業をしていた時も生徒同士の助け合いを大切にしていたので、ブラジルの子どもたちにもそのことを伝えることができ嬉しく思いました。



授業の後半は2月に開催されるピンポン大会に向けての練習を行ないました。初めての練習日だったので、ラケットに当てるだけでも精一杯でした。しかし、友達と一緒に楽しんでプレーしていました。2月中は日本語の勉強だけでなくピンポンの練習を通して楽しい日本語学校生活を送ってほしいと思います。

## ◆ 高学年林間学校 1月27日(土)、28日(日)

アリアンサから車で1時間ほど離れたアラサツーバという街の日本語学校を会場に、高学年林間学校が開催されました。この林間学校にはノロエステ地区にある日本語学校に在籍している12歳以上の生徒が参加します。今回は50名の生徒が参加しました。残念ながら第3アリアンサには高学年の生徒がいないため、私のみの参加となりました。プログラムはアイスブレイクから始まり、先生のお話、調理実習、肝試し、キャンドルサービス、劇などを班に分かれて行ないました。日本の宿泊学習と似たプログラムとなっています。しかし、この林間学校はプログラムがこの他にもあり、1日目の就寝は深夜0時を過ぎていました。



先生のお話では、私が「日本の高校」と題して、日本での勤務校である伏木高校の紹介をしました。全て日本語で話すためしっかりと生徒たちに伝わるか不安でしたが、珍しい写真の数々に興味を示しているようでした。



調理実習では餃子とチャーハンを作りました。ほとんどの生徒にとって見るのが初めてのメニューばかりです。餃子は皮を作るところから始めたので、予定よりも時間がかかりました。しかし、初めての体験に目を輝かせながら一生懸命に美味しく綺麗な餃子を作ろうと奮闘していました。



全てのプログラムが終了した2日目の夕方にはすべての生徒がぐったりと疲れているようでした。しかし、表情からは充実した2日間を送ることができた達成感のようなものを感じることができました。この林間学校で出会った新しい友達を大切に、これからの日本語学習も継続して取り組んで欲しいと思います。